

平成 27 年度 坂小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会まとめ

開催日	平成 27 年 12 月 9 日 (水)	会場	坂公民館
-----	----------------------	----	------

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
笹原自治会	山中町内会	市山新田自治会
元山中自治会	台崎町内会	三ツ谷自治会
民生委員・児童委員	錦田地区地域包括支援センター	坂幼稚園
坂幼稚園 PTA	坂小学校	坂小学校 PTA
錦田中学校	錦田中学校 PTA	第 1 3 分団

※当日参加者 26 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- 坂 小 学 校：全校児童 88 名。緑の合唱団、緑の少年団、縦割り（異年齢集団）活動、恵明学園との交流活動、坂幼稚園児との坂小連携教育活動、地域の人々との交流（感謝の会・感謝の給食会へ招待、箱根の里祭りや坂地区文化祭への参加、農事体験等）を実施。小規模校の特性を活かし、地域ぐるみで子どもたちを育てることに力を入れている。
- 錦 田 中 学 校：松並木清掃（偶数月第 2 日曜日）、錦田中学校農園、豊かな心と希望（のぞみ）の種を咲かせる会（10/23）、PTA バザー（10/31）、2 年生職業体験（11/4～6）、学校花壇の植え替え、授業公開・高校説明会・アドバイザー会議（11/28）等実施。来年度の桜風祭「合唱」（会場：ゆうゆうホール）等、今後も地域の方に生徒の様子をご覧頂く企画を計画していくので、ぜひお越しください。
- 地域包括支援センター：各地で地域の方の交流の場「体操教室」を開催（玉沢地区：第 2 & 第 4 金曜日 10：00～、笹原地区：毎月 15 日）。参加者を増やしていきたい。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
①地域の特性を踏まえた防災の取り組みを実践しよう！	18人
②親世代に向けた坂地区の魅力づくりと発信に取り組もう！	1人
③子育て世代や幼稚園のために地域でできることを始めよう！	7人
④その他	0人

※アンケートの結果、①と③に分かれ話し合いました。

テーマ別会議①：「地域の特性を踏まえた防災の取り組みを実践しよう！」

現状・課題	解決策（新たに取り組んだこと）	取り組みそうなこと（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄をしっかりと行っているかわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄品の必要性を防災訓練で話した ・ 保存水の賞味期限の延長（2年→7年に） ・ 水は期限が過ぎても他の使い道がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭の備蓄を確認する ・ 備蓄の再検討 ・ 自治会で備えているものを区民に紹介し、個人で備えてほしいものをお願いした
<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の対応 ・ 町内会の高齢化⇒マンネリ化している ・ 高齢者中心で訓練をしていきたい ・ 防災訓練には高齢者も参加してもらった ・ 個人情報（病気・障害・連絡網の取り扱い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年初めて黄色いハンカチを利用した ・ 黄色いハンカチ大変だった ・ 40戸安否確認するのに1時間かかる。かなり大変 	<ul style="list-style-type: none"> ●簡単な手当てを学ぶ機会 ・ 負傷者の傷をどのように手当てするのか心配 ・ 手当てを学ぶことのできる講習をする ●防災訓練に保健師さんの参加を促す ・ 保健師さんを防災訓練に呼ぶのも一案 ・ 地域の中で専門知識を持った人を活用する
<ul style="list-style-type: none"> ●参加者が限られている ・ 防災訓練の参加メンバーがいつも同じ ・ 高齢者になると参加難しい ・ 起震車で多くの人が呼べないか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハザードマップを参考に事前に巡回。継続 ・ ポンプの作動、女性にできるようにした ⇒新しくなり操作しやすい（特に女性に好評） 	<ul style="list-style-type: none"> ●参加を促す体験メニュー ・ 起震車呼ぶ。新たなメニューを考える
<ul style="list-style-type: none"> ●情報不足 ・ 避難場所を区全員が知っているか？ ・ 避難場所を知らない どのように周知したら良いか？ ・ 三島市の避難情報が入ってこない ・ 配信していない。登録すれば入るようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練開始前にかげ崩れ危険個所の確認訓練を行った。（消防団13分団） 	<ul style="list-style-type: none"> ●取り組みの継続 ●意識を変える
<ul style="list-style-type: none"> ・ 坂小学校まで遠い。災害時の道路状況に不安がある ・ 広場がなく、避難場所が谷間にある ・ 何か新たなことが見つからない（マンネリ化） ・ 自治会役員と区民との間に防災に対する意識の差がある（区民に訓練する意識、危機感がない） ・ 伝言ダイヤルの訓練を実施。実践者がいなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可搬式ポンプを新しくした 	

テーマ別会議②：「子育て世代や幼稚園のために地域でできることを始めよう！」

現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
<p>●子どもが減っている</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂幼稚園は少人数だから役員の負担が増えると思われ、敬遠される 坂小学校に入学する子が減っている 一旦地区外に出ると戻って来ない 若い母親同士のつながりがない（地区外の保育園でママ友ができてしまう） 坂小学校区だけでは限界がある 	<ul style="list-style-type: none"> 人数が少ないことを魅力にする 	<p>●まずは情報発信したい</p> <p>「坂幼稚園はこんないいところ！」</p> <p>「坂小学校はこんなに楽しいところ！」</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通に農業体験（野菜づくり）ができる 土いじりをたくさんやらせてもらえる 少人数だから負担が大きいのではなく、役員をやっても少人数だから楽 幼・小の連携が魅力 おじいちゃんから孫に、坂幼稚園や坂小の良さを宣伝してもらおう 不登校がない
<p>●幼稚園の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年保育の問題 （3歳の定員が決まっている⇒増やしたい） 働いている親たちに幼稚園は難しい 坂幼稚園の年長は6人、坂小の新一年生は14人 ⇒8人が地区外に通園 	<ul style="list-style-type: none"> 3年保育 	<p>●情報発信ツールが重要</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂小学校のHPを見て、他地域から来る親子がいる ほとんどの人はHP・ブログを見ない 口コミが大切 テレビ番組の「楽園通信」は効果あり 市の広報で特集記事を書いてもらえると良い
<p>●親の居場所が欲しい</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものための役割に格差がある （PTA活動に参加する人と参加しない人がいる） PTA活動に参加するきっかけがない 親達を見て子供は育つ 役員をやらないから学校・地域との関わりが薄れる 	<p>●理想は、小中一貫</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂中学校の復活。小中一貫教育の実施 坂中学校を復活させ、中学校でも特認校制度を活用し、良さをアピール 坂地区で幼稚園から中学まで一貫教育できると良い。 	<p>●体験活動を企画したい</p> <ul style="list-style-type: none"> おいしそうな物でアピール 雪遊び体験してもらおう
<p>●坂地区の良い所</p> <ul style="list-style-type: none"> 周りの子供の面倒も見てくれる 親、兄弟に知り合いが多い（顔見知りが多い） 預かり保育、児童クラブがある 恵明学園さんの割合が増えている 		

テーマ別会議①：「地域の特性を踏まえた防災の取り組みを実践しよう！」



テーマ別会議②：「子育て世代や幼稚園のために地域でできることを始めよう！」

